

商品名		価格
集合研修	パソコンユーザーのためのセキュリティ入門 *1	定期講習会 6,300円 個別研修 52,500円～
	事例で学ぶ情報セキュリティ *1	
	部門管理者のための情報セキュリティ *1	定期講習会 10,500円 個別研修 52,500円～
	早わかり 個人情報保護 *1	
オリジナルテキスト	パソコンユーザーのための情報セキュリティ	1,050円
	事例で学ぶ情報セキュリティ	2,100円
	現場に学ぶ情報セキュリティ	735円
	部門管理者のための情報セキュリティ	1,575円
	よくわかる個人情報保護	500円
	事例で学ぶ個人情報保護(新版)	1,050円
	マネージメントとしての個人情報保護	1,575円
	インターネットのおとし穴 転ばぬ先の著作権	1,260円
eラーニング *2 (ASP型/1ID/3ヶ月)	パソコンユーザーのための情報セキュリティ	4,200円
	事例で学ぶ情報セキュリティ(改訂版)	
	部門管理者のための情報セキュリティ	5,250円
	情報セキュリティ意識チェック *3	2,625円
	事例で学ぶ個人情報保護(改訂版)	5,250円
	その後の個人情報保護	4,200円
	マネージメントとしての個人情報保護	5,250円
	事例で学ぶ個人情報保護 確認テスト(改訂版) *3	2,625円
	情報モラル *4	3,150円
	インターネットのおとし穴 転ばぬ先の著作権	5,250円
セキュリティポリシー策定 /運用支援	セキュリティポリシー策定 *5	1,100,000円～
	セキュリティポリシー導入前研修 *5	個別研修 400,000円～
	セキュリティポリシー導入後研修 *5	個別研修 300,000円～
	M@gicPolicyQUICK導入操作研修 *6	個別研修 367,500円～

*1:テキスト代別途。個別研修の価格は、3時間/定員10名で実施した場合の講師料金(参考価格)です。詳細は弊社担当営業までお問い合わせください。
 *2:ASP型の他、イントラネット売切型/イントラネット年間利用型もご用意しております。
 *3:1ヶ月未満/1回限りのご利用となります。
 *4:1ヶ月間のご利用となります。
 *5:記載の価格は参考価格であり、詳細な金額は個別見積りとなります。弊社担当営業までお問い合わせください。
 *6:テキストは「M@gicPolicyQUICK Ver.3.1 運用・操作マニュアル」をお客様にご用意頂きます。価格は10時間(2日間)/定員10名で実施した場合の講師料金(参考価格)です。詳細は弊社担当営業までお問い合わせください。

当社サービスは
お客様のご要望に応じてカスタマイズ可能です

<テキスト/eラーニング カスタマイズ例>

よくわかる
個人情報
保護

事例で学ぶ個人情報保護

+

御社方針

=

御社オリジナル
テキスト/eラーニング

・セキュリティポリシー
 ・実務に合わせた内容
 etc....

富士通エフ・オー・エム株式会社
 本社: 〒105-6891
 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー
 代表: 03-5401-8470

※本パンフレットの記載内容は2007年10月現在のものであり、予告なく変更させていただきます。
 ※記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
 ※記載されている価格は、全て税込み価格です。

お問合せ・お申込みは...

リスクから企業を守る



社員一人ひとりの意識を高める 情報セキュリティ関連サービスご紹介



今、全社員に求められるセキュリティ意識
 より高度な情報化が進む現在、企業は様々な脅威に晒されています。

～情報化社会の脅威～



日々変化する情報化社会を生き抜くためには・・・
全社員のセキュリティ意識徹底による企業コンプライアンスの確立が必須です

企業をリスクから守る為には、社員一人ひとりのセキュリティ意識向上が不可欠です。

企業においてウイルスチェックやファイアウォールといった技術的なセキュリティ対策が整備される一方で、個人情報漏洩や社内データの流出といった不祥事が後を絶ちません。常に化する情報化社会において、企業は常に脅威に晒されています。

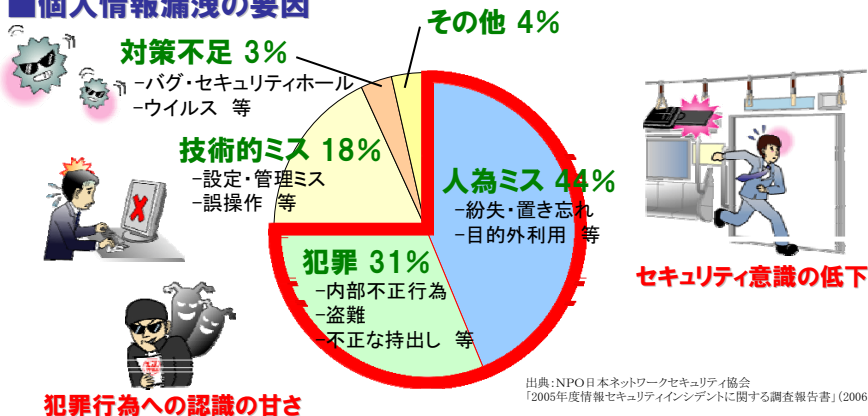
企業をとりまく個人情報漏洩事件

■個人情報漏洩事件の推移

	2003年	2004年	2005年
漏洩事件発生件数	57件	366件	1,032件
被害者数	約1,555千人	約10,435千人	約8,815千人
損害賠償総額	約281億円	約4,667億円	約7,002億円

出典：NPO日本ネットワークセキュリティ協会
『2005年度情報セキュリティインシデントに関する調査報告書』(2006.7)

■個人情報漏洩の要因



出典：NPO日本ネットワークセキュリティ協会
『2005年度情報セキュリティインシデントに関する調査報告書』(2006.7)

個人情報漏洩の約75%が、**人為ミスや犯罪といった非技術的な要因**によるもの

◇日本における主な個人情報漏洩事件

- 某金融業 データ紛失による顧客約19万人の個人情報流出
- 某通信業 パソコン盗難による顧客約2千人の個人情報流出
- 某情報サービス業 個人情報の不正持出しによるローンカード偽造
- 某旅行代理店 不正アクセスによる顧客約9万人の個人情報流出
- 某地方自治体 業務用パソコンのウイルス感染による市民約1万人の個人情報流出

情報化社会における様々な脅威から企業を守るには、技術的なセキュリティ対策だけでなく、職場環境に即したセキュリティポリシー策定や、社員一人ひとりの意識を啓蒙する**非技術的なセキュリティ対策**が必要です。

豊富な研修実績に基づく「わかりやすい」サービスで、継続的なセキュリティ意識の定着をご支援します。

情報セキュリティマネジメントサイクル ～策定・実施・検証・再構築による定着化～



企業がより高いセキュリティ水準を確保するためには、情報セキュリティマネジメントサイクルに基いた全社員の継続的な取り組みが求められます。富士通エフ・オー・エムは、長年培ったIT研修のノウハウを活かし、お客様のご要望に合わせた多彩なサービスで社員のセキュリティ意識定着化をサポートします。

情報セキュリティ関連サービス 導入例

CASE.1 不動産業A社様



お客様案件

- 全社員に最低限のセキュリティ意識を身に付けてほしい
- 個人情報の取り扱い方について学習して欲しい

【STEP1】

セキュリティ研修の実施による意識の啓蒙

【STEP2】

eラーニングによるセキュリティ意識のチェック
-セキュリティ意識浸透度の確認
-現状の問題点を洗い出して反映

【STEP3】

A社様オリジナルコンテンツ作成による継続的な学習

定期的な見直しによる改善

CASE.2 情報サービス業B社様



お客様案件

- 情報セキュリティに関する会社の方針(ポリシー)を全社員に徹底させたい
- 策定したポリシーに問題がないか検証をしたい

【STEP1】

B社様のセキュリティポリシーをeラーニング化

【STEP2】

セキュリティポリシーの内容を学習/確認テスト
-ポリシーの定着度を確認
-運用上の問題点を精査

【STEP3】

セキュリティポリシー見直しに伴うコンテンツの改訂

定期的な見直しによる改善